

②環境教育・環境学習の推進



市内の小学生等を対象に、大気や水環境を守る業務の概要や環境の現状、大気・水環境の大切さ、みんなにできること等について直接伝える環境教育として、出前授業やイベント等を実施しています。

また、市民等に環境配慮の考え方・行動が定着することをめざし、環境学習の教材プログラム、人材育成を充実するとともに、市民や学校等における環境学習を支援しています。

Ⅱ-1-②の具体的取組及び実績は次のとおりです。

施策の方向性 基本施策	具体的取組	概要	令和6(2024)年度実績	目標との関係				地域		
				大気	水	化学	市民	南部	中部	北部
<b>Ⅱ 安心して快適な環境を共に創る</b>										
<b>Ⅱ-1 環境配慮意識の向上</b>										
<b>② 環境教育・環境学習の推進</b>										
	1 環境シビックプライドの醸成による環境配慮行動の促進 【リーディングプロジェクト】	自ら進んで環境配慮行動をおこせる人材を育成するため、川崎市が環境改善を図ってきた歴史や、現在の川崎市の環境について伝える機会を増やすことにより、環境シビックプライドの醸成を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市制100周年事業として「川崎の発展と環境の歴史を振り返り未来を考える企画展」を市内4か所で実施したほか、小学校等での出前授業において講義を行いました。(出前授業の実施回数:8回)</li> <li>○大気・水環境分野の出前授業のコンテンツをHPに整理し、小学校等に向けて周知を行いました。</li> <li>●大気・水環境に係る出前授業について8件実施しました。また、出前授業やイベント等の実施後にアンケート調査を実施し、環境配慮意識の変化等を把握しました。</li> <li>●「環境セミナー」をオンライン・オフラインのハイブリッド形式で計3回開催したほか、YouTubeへの新規動画投稿(5件)、年間を通じたX(旧Twitter)投稿や川崎生命科学・環境研究センター(通称:LiSE)1階アーカイブスペースによる情報発信を行いました。</li> <li>●本市や近隣企業等による環境学習イベントを支援するため、保有機材を計5回貸し出したほか、「かわさき水辺の生きもの」(令和5年度内容改訂)等の教材を提供しました。また、市制100周年記念事業として、これまでの環境関連の記録写真等をWEB上で取りまとめたデジタルアーカイブを開設しました。</li> <li>●市民活動団体や市内の学校と連携し、環境総合研究所の研究施設等を活用した環境教育を計3回実施するとともに、神奈川県、横浜市と合同で環境研究発表会を開催し、調査・研究成果を発表したほか、全国環境研協議会の発表会等において調査・研究成果の情報発信を行いました。</li> <li>●小学生が科学に触れる機会の創出等のため、キングスカイフロント内近隣企業等が実施する「夏の科学イベント」に参加し、熱中症予防対策に関する展示を行いました。また、同じく近隣企業等が実施するキングスカイフロントOPEN DAY(市制100周年記念事業)に参加し、市内の中学生や高校生を対象に海の水質分析に係る体験型講義を実施しました。</li> </ul>	○	○	○	○	○	○	○
	2 水辺に親しむイベント等の実施 <水質・水生生物・水辺地>	市民との協働や流域自治体との連携により、環境学習や体験活動の取組を進め、さまざまな機会を通して水辺の魅力を発信します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●川崎市域3校の水辺の楽校の活動状況などを把握し、自然体験活動の人的支援(計10回)や物資の提供等を行いました。また、水辺の楽校の取組周知や映像による紹介、活動用品の保管場所の調整等を行いました。通年での多摩川の体験学習を実施する水たまキッズ事業では、流域自治体である八王子市・日野市と連携し、多摩川支流の浅川で上流体験を実施しました。大田区と連携し「丸子の渡し祭り」を開催するとともに、「多摩川で和むe体験」を同時開催し相乗効果による魅力向上を図りました。市制100周年記念事業「復活!登戸の渡し」では、狛江市と連携し広報などを展開し実施しました。市民団体、流域自治体、河川管理者等で構成する「多摩川流域懇談会」に参加し情報交換等を行いました。</li> <li>●水辺に親しむ機会として水環境体験教室を8回実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○多摩川教室に出展しました。</li> </ul> </li> <li>●水辺の親しみやすさ調査を水辺にふれあえる代表的な17地点で実施し、評価しました。</li> </ul>	○		○	○	○	○	○
	3 地域環境リーダーの育成	持続可能な社会の構築と脱炭素社会の実現に向けた人材育成のため、環境配慮行動を促すしくみの基盤となる環境教育・学習の取組を地域全体で推進します。	●地域環境リーダー育成講座については、基礎編4回、実践編4回の計8回開催し、8人(累計407人)が新たに地域環境リーダーになりました。	○	○	○	○	○	○	○
	4 「エコシティかつ」推進事業の取組 <水生生物>	学校ビオトープ等を活用した環境学習、水・緑・生き物の調査や間伐体験等を通し身近な森の再生過程を学習する機会の提供を図ります。	●区内小学校等のビオトープを活用した「学校流域プロジェクト」(3回)を実施しました。	○		○		○		

## 1 環境シビックプライドの醸成による環境配慮行動の促進（Ⅱ-1-②-1）

### (1) 市内の小中学校への出前教室の実施

本市が市民・事業者・行政の連携により環境改善を図ってきた歴史や、現在の本市の環境をとりまく状況への理解を促し、地域への愛着を育てることにより、環境シビックプライド（市民の環境面の誇り）を醸成し、自ら進んで環境配慮行動をおこせる人材を育成することを目指して、大気・水環境分野の出前授業を実施しています。

### (2) 市制 100 周年企画展の実施

市制 100 周年事業として、未来の環境について考え、行動するきっかけを作ることを目的として、川崎市が所蔵している写真等から環境の歴史を振り返る展示「川崎の発展と環境の歴史を振り返り未来を考える企画展」を市内 4 会場で実施しました。

### (3) ウェブサイト「デジタルアーカイブかわさき環境 100 年史」の開設

市制 100 周年事業として、ウェブサイト「川崎市デジタルアーカイブかわさき環境 100 年史」を令和 6 年 11 月 20 日に公開しました。

本アーカイブでは、環境総合研究所や市民ミュージアム所蔵の写真、環境関連の過去の市政だよりのスクラップ記事などをデジタル化し掲載しています。

<https://www.digital-archive-env.city.kawasaki.jp/>

令和 6（2024）年度の取組については、「リーディングプロジェクト 2（P. 20）」を御覧ください。

## 2 水辺に親しむイベント等の実施（Ⅱ-1-②-2）

市民が水辺に親しむ機会として、夏休み水環境体験教室を実施し、水環境改善の歴史について学び、水環境への配慮意識の向上を図り、環境配慮行動を促しました。

令和 6（2024）年度の取組については、「リーディングプロジェクト 1（P. 19）」を御覧ください。

## 3 地域環境リーダーの育成（Ⅱ-1-②-3）

環境教育・学習の取組を持続的に発展させていくため、18歳以上を対象に地域環境リーダー育成講座を実施し、地域で環境活動に取り組む人材育成を推進しています。また、講座の受講生と過去の修了生が交流できる場としてエコ・フェスタかわさきを開催し、環境保全活動に自発的に取り組む市民の支援を行っています。